（公財）日本骨髄バンク／NPO法人血液情報広場・つばさ／広島大学病院　血液内科 共催市民公開講座

造血細胞移植の成果と課題を共有しよう

～新たな時代を切り開くために～

日時　2019年4月27日（土）　13:00～17:00

会場　広島大学医学部　広仁会館　※案内図・裏面

参加費、無料
申し込みが必要です
※申込み、問い合わせ先　裏面

日本骨髄バンクを介しての非血縁者間造血細胞移植も2018年には2万2千件を超え、さい帯血バンクやご家族からの移植も合わせると本当に多くの移植経験者の皆さんが疾患を克服して生活を再建、学校や仕事・地域活動で活躍しています。このような現況を見据えて、移植治療の成果と治療による副作用や晩期障害などに関する課題を共有することを通じ、いま改めて'それからの暮らし'を考えます。会場では質問用紙が配布されますので、これから移植を受ける予定の方はもちろん、既に造血細胞移植を受けた方々も、移植治療について、その後のフォローについて、遠慮せず提出してください。経験者からの貴重なメッセージや、ほかの人から寄せられた質問への専門家のアドバイス等も共に聴いて、日頃の疑問や不安を解決し、「より良いこれから」を考える日にしましょう。

座長：広島大学病院血液内科 診療科長／広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授　一戸 辰夫 先生

総合司会：NPO 法人血液情報広場・つばさ 代表／日本骨髄バンク 理事　橋本 明子

基本を学ぼう

①造血細胞移植治療の解説　ー治療から派生する諸問題1
急性期に起きる諸問題や感染症などへの対応　広島赤十字・原爆病院 血液内科　片山 雄太 先生

②造血細胞移植治療　ー治療から派生する諸問題2
退院からの暮らし、フォローアップ外来、QOL対策　国立がんセンター中央病院 造血細胞移植科　黒澤 彩子 先生

情報を得よう・共に考えよう

経験口演　それからの私

- MDSを非血縁移植で克服～17才で診断、29才で急激な悪化 ～たくさん受けた輸血のこと、移植後の妊孕性など　後藤 千英 さん
- 9才で移植後、悩み続けた心身の不調に性腺ホルモン投与"34歳で声変わり?!"長期フォローのたいせつさをマラソンでアピール中　宮城 順 さん
- 47歳で発症したAMLを、2回の移植で克服しました。今とても元気です。　武内 千香子 さん

◎ここでちょっと特別に、ドナー経験者さんと対話
健康人が初めて医療（麻酔、骨髄採取）を受けて感じたこと、姉（千英）にはできなかった「提供」を見知らぬ人にできたこと。
後藤 哲平 さん：橋本明子

講演 ： 地域に広がる造血細胞移植医療
移植後の暮らしと地域で受ける医療　医療法人社団エス・ディー 平田内科　平田 裕二 先生

造血細胞移植医療の最前線を知ろう

特別講座　「造血幹細胞移植療法は、どこまで進化するか」
講演 ： 広島大学病院 血液内科　一戸 辰夫 先生

全体質疑応答　疑問・不安を解決しよう

講師／参加者　全員

公益財団法人 日本骨髄バンク ： http://www.jmdp.or.jp/
特定非営利法人 血液情報広場・つばさ ： http://tsubasa-npo.org/